経産省テントひろば

八木

らすれば落ち着いているとはいえ、 年2ヵ月ほどが経った。 1年間は何十年間を 行動がおこなわれている。 金曜行動以外にも月曜=関電支社前、 た。今ではこのテントは霞ヶ関の日常の風景 のようにおこなわれている。官邸前・国会正 である。そこにあって当然のものというよう 圧縮したような本当に疾風怒濤の日々であっ 経団連前、 経産省前テントひろばが生まれてから、 そして金曜行動も一時期の人数と熱気か 経産省前、文科省前、 金曜日の夕方そこに行けば必ず人々と 行動に参加できる日常の光景である。 水=文科省前と何ヵ月間も抗議 規制庁前等の行 毎週当然 火・水 1

ことなのである。この風景の背後には、 ではいつも遠方からの参加者の声が聞かれる。 至る所で繰り広げられている大小様々な行動 百数十ヵ所に広がっている金曜行動があり、 反=脱原発のために霞ヶ関~ 声を上げ、 だから官邸前や国会前でのスピーチ 意志表現することは今では 日常的に持続していく 永田町近辺で

ない)。

www.ustream.tv/channel/tentcolor 世界に向けて発信するために、テントTV「あ 持久戦の最中にあることを示しているのでは 脱原発運動が 常的なものとして持続する。それは今、 発でテントに結びつけることや、 ないだろうか。そういう中でテントでは世界 余で放映している。 に向けた情報発信力を高め、 な驚きと興奮を伴っていた行動が、 おぞら放送」を毎週金曜日16時から1時間有 かつては非日常的な、それ故ある種の新 〈次〉をめぐってギリギリした (視聴アドレス: 国会議員を脱原 福島の声を 今では日 http:// 反

再稼働をめぐる持久戦中のひろば

げて狗肉を売る類のものであったが。 視界に引き出し、政治の舞台でも脱原発の流 = 脱原発運動と世論の高まりは、原発ゼロを るを得なくさせた。もっともそれは羊頭を掲 れをつくり、 大飯原発再稼働を機に大規模に発展した反 政権をして原発ゼロを口にせざ

し厳密にして再稼働していこうということに他なら 規制委→規制庁の発足と再稼働への態勢づく 開や原子力ムラ(+警察官僚)に占められた ための機関である。あまりのデタラメさからもう少 ることとなった もすぐ口をつぐみ、現実には大間原発建設再 財界・米国・自民党等はそれを攻撃し、 そういう類のものであったにもかかわらず、 核燃サイクルの継続という事態が進行す (規制委はつまるところ再稼働の

> という核武装論―潜在的核抑止論からする原 発への流れは拡大しているのであるが。 発決議や全国津々浦々に広がる行動等、 治の表層を覆っている。 リズムの大扇動でもって自民党の安倍・石破 倍内閣が登場すると取りざたされる状況が政 発推進ラインが台頭し、 さらには尖閣問題を演出した領土ナショナ 近づく総選挙では安 底流ではJAの脱原

がってくるように形成されてきた意志 現在の持久戦は、 社会の中に底から湧き上 (脱原



市民の意見 NO.135 2012/12/1

発への社会転換の意志) 現実化させていき、 まっていく再稼働をめぐる攻防へと凝集され ろう。そのせめぎあいは来夏あたりに煮詰 を握るかでせめぎ合っているということであ れを起こしてぶつかりあい、 り出していく力としていくこと。 ゼロをたぐり寄せ、 この再稼働を巡る態度へと収斂されざるを得 している意志(国家意志) 原発推進か原発ゼロかはつまるところ 再稼働を阻止し抜くことによって原発 他方では社会の転換を創 一方では国政の転換へと と、 とがひずみとねじ 表層の政治を支配 どちらが主導権

価島、原発現地と連携して闘うひろば

に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に力を注いできたし、さらに強めていきたい。とくに力を注いできたし、さらに強めていきをさらけ出し、今も進行中の原発災害であり、〈福島〉出し、今も進行中の原発災害であり、〈福島〉出し、今も進行中の原発災害であり、〈福島〉出し、今も進行中の原発災害であり、〈福島〉出し、今も進行中の原発災害であり、〈福島〉に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山でのIAEA国際会議に対する行動には全力に郡山での方法という。

発現地(立地地域+周辺地 そして要となるのは原 で取り組みたい)。

域)を横につなぎ、福島につなぎ、「消費地元」につなぎ、全国につなど、電力会社に安全協定の全国ネットワークはそのためのものである。 3・11は「現地」ということを大きく変えた。原発事故の被災は広大な範囲に及び、立地地原発事故の被災は広大な範囲に及び、立地地原発事故の被災は広大な範囲に及び、立地地原発地」へと変え、日々直接に原発に向き合わされる地域へと変えた(だから、そうした地かされる地域へと変えた(だから、そうした地緒で決定権を取り戻すべく、電力会社に安全協定の締結を求める声が高まっているのはけだし当然であ締結を求める声が高まっているのはけだし当然であ締結を求める声が高まっているのはけだし当然であ締結を求める声が高まっているのはけだし当然であ締結を求める声が高まっているのはけだし当然である)。

がそれ自身、全国的な、全民衆的な闘いとしている。従って、一つひとつの「各地の闘い」 題として、全民衆的な、全国的な問題となっ う人々の生命と生活、社会の根幹に関わる問また一つひとつの再稼働がこの列島に住ま



クが結成される。携・手だてとして再稼働阻止全国ネットワーてある。そのことを現実のものとしていく連

さしあたり、大飯原発直下の活断層をめざしあたり、大飯原発直下の活断層をめぐって逆に安全協定締結(再圏防災計画をめぐって逆に安全協定締結(再圏が災計画をめぐって逆に安全協定締結(再の近野値を必ずであたり、大飯原発直下の活断層をめ

当事者としてのひろばの役割

費地 ことになるのではないだろうか。 とつながっていくことが必要であり、そうす 当事者であり、 とする財界・政党・原子力ムラの中枢が集中 ることで全国的な媒介者としての役割、 任を負っている。 とくに東京は政府諸機関・電力会社をはじ う一つの現地であり、 ラの中枢に対峙させていく役割を担ってい の大後方としての役割を果たしていくととも 私たち東京圏をはじめとする大都市圏は 情報が集中し、 原発現地一 (浪費地) 寄生的な消費都市として最大の電力消 つねに原発現地を意識し、 であり、 原発現地に対して加害性と責 全国の意志を政府・ だから東京圏-人口が集中しているとと もう一つの地元であ そういうものとして 大都市圏 原発現地 原子力ム

も筆者) 再稼働阻止全国ネットワーク・事務局員。写真提供 (やぎ・たけひこ/経産省前テントひろば・広報担当